

公益財団法人さんりく基金
令和7年度第1回評議員会 議事録

1 開催の日時及び場所

- (1) 日時 令和7年6月11日(水) 午前10時30分から午前11時05分
- (2) 場所 トーサイクラシックホール岩手第1会議室(盛岡市内丸13番1号)
及びWeb会議システム「Zoom」

2 評議員の現在数

評議員7名

3 出席者

- (1) 評 議 員 桐田 教男
評 議 員 工藤 直樹
評 議 員 村上 宏治

以下の出席者は、Web会議システム「Zoom」により参加した。

- 評 議 員 澤里 充男
評 議 員 平松 福壽
評 議 員 藤枝 修
評 議 員 水野 雅裕

(2) 役員

業務執行理事 熱海 淑子 業務執行理事 中嶋 英俊

(3) 事務局

事 務 局 長	熱海 淑子	三陸DMOセンター長	中嶋 英俊
企画総務部長	森 英介	企画総務部副部長	立柳 敦
企画総務部副部長	戸塚 教仁	事 務 局 員	大槌 滋成
事 務 局 員	田村 優子	事 務 局 員	川村 泉

4 欠席者

なし

5 議長

工藤 直樹

6 決議事項

- 第1号議案 令和6年度事業報告及び附属明細書の承認について
- 第2号議案 令和6年度計算書類(貸借対照表及び正味財産増減計算書)及び財産目録の承認について
- 第3号議案 任期満了に伴う理事の選任について

7 議事の経過

午前10時30分開会した。

冒頭、Web会議システムにより、出席者の音声即時に他の出席者に伝わり、出席者

が一堂に会するのと同等に適時的確な意見表明が互いにできる状態となっていることを確認し、議事を開始した。

村上副議長が、評議員現在数7名中出席7名により定款第20条に定める定足数を満たしており、本評議員会は成立した旨を告げた。

また、本年3月の菊池評議員の退任により、議長が空席であることから議長を選出することとし、工藤評議員が選出された。以降の進行は、工藤議長により進められた。

なお、議事録署名人について、議長一任とされたので、議長は平松評議員と藤枝評議員の2名を指名した。

報告事項1 「職務執行の状況について」

熱海業務執行理事が執行状況を報告した。

議長が報告について質問、意見を求めたが、発言はなく、直ちに議案の審議に入った。

第1号議案 「令和6年度事業報告及び附属明細書の承認について」

第2号議案 「令和6年度計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及び財産目録の承認について」

議長は第1号議案と第2号議案について関連があるとし、事務局に一括して説明を求め、森企画総務部長が説明した。

議長が、第1号議案、第2号議案について一括して質問、意見を求めた。

【工藤評議員】

基本的な確認であるが、三陸DMOセンターとさんりく基金の関係性は。

【森企画総務部長】

DMOというのは観光庁に登録されている制度であり、さんりく基金がDMO法人として登録されている。また、さんりく基金の組織の一部門として、宮古市で現場での実際の事業を担う組織が三陸DMOセンターであるという整理。

【工藤評議員】

私は、3月まで沿岸広域振興局長であり、特に釜石平松副市長には大変お世話になった。最近の話題ではないが、三陸DMOセンターとの情報共有について話題になったことがある。その後どうなのか、平松評議員から何かあればお願いしたい。

【平松評議員】

特に問題になることはなく、普段からかまいしDMCと情報交換させていただいて業務に役立たせていただいている。

【工藤評議員】

良好に進んでいるということですね。

7ページの新商品・地域サービス開発事業について、申請18件に対し、助成12件というのは、予算額の関係で件数を絞っているのか。それとも採択に不适当という理由で絞っているのか。

【森企画総務部長】

予算の面で採択できないのではなく、審査委員会での審査で、要件を満たさないであつたり、事業の実効性等の面で採択が適当ではないということで、不採択になったもの。結果採択された件数が13件ということ。

【工藤評議員】

不適當と判断された主な理由はどんなものがあるのか。

【川村事務局員】

計画書の書き込みが少ないことや事業計画に対して実際にできるかという点で実施能力不足と判断をされるものがある。

【桐田評議員】

事業報告の1ページ、基本方針において、「財団の設立目的が三陸地域及びその周辺地域の振興を図る」とあり、大きなエリアの振興を図るという大きな目的がある中で、「市町村や関係団体等との一層の連携強化を図り、重点的に取り組んだ」とある。

業務執行理事の1人が沿岸に拠点を構え、現場にいるという状況で、業務執行理事が基本方針に基づいた活動をする予算は的確に配分されているのか。何か不足や課題はないのか。

【森企画総務部長】

1ページの「1 三陸地域の観光地域づくり体制の整備」の「実績額 10,124,104円」が、三陸DMOセンターの設置運営に要した経費である。三陸DMOセンターが現場で活動する基本的な予算は盛り込んでいるものと考えているが、今後、令和7年度の活動の中で業務執行理事とも意見交換しながら、適切にやっていきたい。

【桐田評議員】

重ねて、「地域課題の解決に取り組み、地域振興につながる事業の推進」とあるが、三陸地域の課題は、岩手県全体と同じように、人口減と産業の活性化が表裏一体となった課題だと思っている。業務執行理事の予算は、三陸DMOセンターの枠組みの中での活動費という説明であつたが、DMOという枠を超えた大きな課題もさんりく基金の取組内容だと思うので、現場で取り組む内容が地域の人に十分伝わるような情報発信をしていただければいい。

【森企画総務部長】

ご意見のとおり。意を用いて取組を続けたい。

議長が、他に質問、意見を求めたが、特に発言はなく、第1号議案及び第2号議案について、軽微な字句修正等は代表理事に一任することを含め、全員異議なくこれを可決した。

第3号議案 任期満了に伴う理事の選任について

議長は、第3号議案について事務局に説明を求め、森企画総務部長が説明した。

議長が、第3号議案について質問、意見を求めたが、特に発言はなく、次のとおり各

候補者の選任について出席評議員全員一致で可決した。

（理事） 青山潤、熱海淑子、天野勝文、石川義晃、佐々木淳、佐々木安彦、佐藤保、
田中宣廣、中嶋英俊、宗形金吉

以上をもって議事の全部の審議及び報告等が終了したので、議長は午前 11 時 05 分閉会を宣し、散会した。本日の Web 会議システムを用いた評議員会は、終始異状なく議題の審議を終了した。

8 議事録作成者

業務執行理事兼事務局長 熱海 淑子